

奈良県立万葉文化館コレクション

日本画でみる万葉の世界

The world of
Man'yo
drawn with
a Japanese painting



上村 松篁「春愁」平成 10 年 (1998)



田淵 俊夫「はぎの頃」平成 10 年 (1998)

平成 28 年
3/12(土)
|
5/8(日)



中島 千波「散りのまがひ」平成 9 年 (1997)

尾道市立美術館

休館日：月曜日 [3月21日(月・祝)は開館]

時 間：午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

観覧料：大人 800 円 / 高・大生 550 円 / 中学生以下 無料

[前売は各 200 円引、団体 (20 名以上) は各 100 円引]

※前売券販売所：中国新聞販売所 (取り寄せ)

啓文社各店、尾道駅前観光案内所

※70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料

※きもの割：きもので来館すると割引 (大人500円 / 高・大生300円)

共 催：中国新聞備後本社

協 力：奈良県立万葉文化館

後 援：広島県、NHK 広島放送局、尾道エフエム放送

尾道ケーブルテレビ、エフエムふくやま



日本遺産



日本画でみる 万葉の世界

平成 13 年（2001）に奈良県明日香村に設立された奈良県立万葉文化館は、『万葉集』の歌を題材とした、現代を代表する日本画家たちの作品を収蔵することで知られる総合文化拠点です。

同館所蔵の万葉日本画および万葉文化の普及と日本画壇の活性化に寄与した公募展「奈良県万葉日本画大賞展」の受賞作品を中心に、華やかな花鳥画 42 点を精選し、『万葉集』にもうたわれた瀬戸内海を見下ろす桜花の季節の千光寺公園に位置する尾道市立美術館で公開します。

1300 年の時空を超えて展覧される万葉の世界をお楽しみください。



那波多目 功一「訪春」平成 9 年（1997）



丹羽 貴子「青旗の」平成 10 年（1998）



上村 淳之「佐保の詩」平成 10 年（1998）



下田 義寛「朝霧」平成 11 年（1999）



平山 郁夫「額田王」平成 9 年（1997）

■関連行事

【記念講演会】

演題：「万葉歌でたどる大和から瀬戸内への旅」
 講師：小倉 久美子 氏（奈良県立万葉文化館 主任研究員）
 日時：3 月 13 日（日） 午前 10 時 30 分～（1 時間程度）
 場所：尾道市立美術館 2F ロビー

【ギャラリー・トーク】 ※当館学芸員が担当

日時：3 月 21 日（月・祝）、4 月 10 日（日）午後 2 時～（40 分程度）
 ※参加無料・申込み不要。展覧会観覧料が必要です。

【わいわいがやがやおしゃべり鑑賞会】

日時：3 月 27 日（日）、5 月 5 日（木・祝）、5 月 8 日（日）
 午後 2 時～午後 3 時まで

対象：中学生以下（付添いの方 1 名は無料で入館できます。）
 ※参加無料・申込み不要。

内容：こどもたちを対象にした鑑賞会です。
 観覧資料などをもとに楽しくおしゃべりしながら
 作品鑑賞します。

【万葉茶会】

日時：3 月 12 日（土）、4 月 9 日（土）、16 日（土）、23 日（土） 午前 10 時～午後 3 時
 場所：尾道市立美術館 2F ロビー 料金：1,000 円（含 観覧料）
 協力：茶道速水流滌源会尾道支部、茶道裏千家淡交会尾道支部
 表千家同門会備後支部（尾道）、煎茶道三榮亭賣茶流尾道支部
 ※詳細は、尾道市立美術館（Tel.0848-23-2281）までお問合せください。

■ご利用案内

- JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス（①番のりば）で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。（ロープウェイのりばで、「往復乗車券＋観覧券」のお得なセット販売をご利用ください。）
 なお、美術館最寄りの「千光寺公園」行きバスは便数が少ないのでご注意ください。
- お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場（有料）」をご利用くださいましたら、入館時に駐車券提示により1名に限り200円割引します。
- JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

